2022年度

（2021年12月～2022年11月）

環境経営レポート

2023年3月31日

川村産業株式会社

目　次

１．　組織の概要　p.1~2

２．　環境経営方針　p.3

３．　環境経営目標　p.4~5

４．　主要な環境経営計画　p.6

５．　環境経営計画に基づく取組内容　p.7~8

６．　環境経営目標の実績、環境経営目標と
実績推移グラフ、取組内容　p.9~20

７．　環境経営活動の取組結果とその評価、
次年度の取組内容　p.21~22

８．　主要な次年度環境経営計画　p.23

９．　環境関連法規等の遵守状況の確認及び
評価の結果並びに違反、訴訟の有無　p.24

１０．代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果　p.25

1. 組織の概要

(1)事業所名　川村産業株式会社

代表者氏名　代表取締役　川村 修平

(2)所在地

本社	〒830－0031	福岡県久留米市六ツ門町17－11
福岡営業部	〒812－0878	福岡市博多竹丘町2-3-9 楓通り筑紫弐番館3F
北九州営業所	〒802－0015	北九州市小倉北区大田町14－19
鹿児島営業所	〒891－0115	鹿児島市東開町12－9
大阪営業所	〒550－0005	大阪市西区西本町1丁目10－3新松岡ビル601号
東京営業所	〒140－0013	東京都品川区南大井3－5－10カーサグランデ201号
姫路出張所	〒672－8072	兵庫県姫路市飾磨区蓼野町94－101
配送センター	〒841－0042	佐賀県鳥栖市酒井西町839－1

(3)環境管理責任者　管理部取締役 橋本 正幸

担当者氏名　管理部総務課 御厨 幸博

連絡先　TEL　0942－33－5195

FAX　0942－36－1117

(4)事業の概要　卸売業：食品原材料、包装資材、機械、合成樹脂原料及び関連製品、農業関連資材の販売

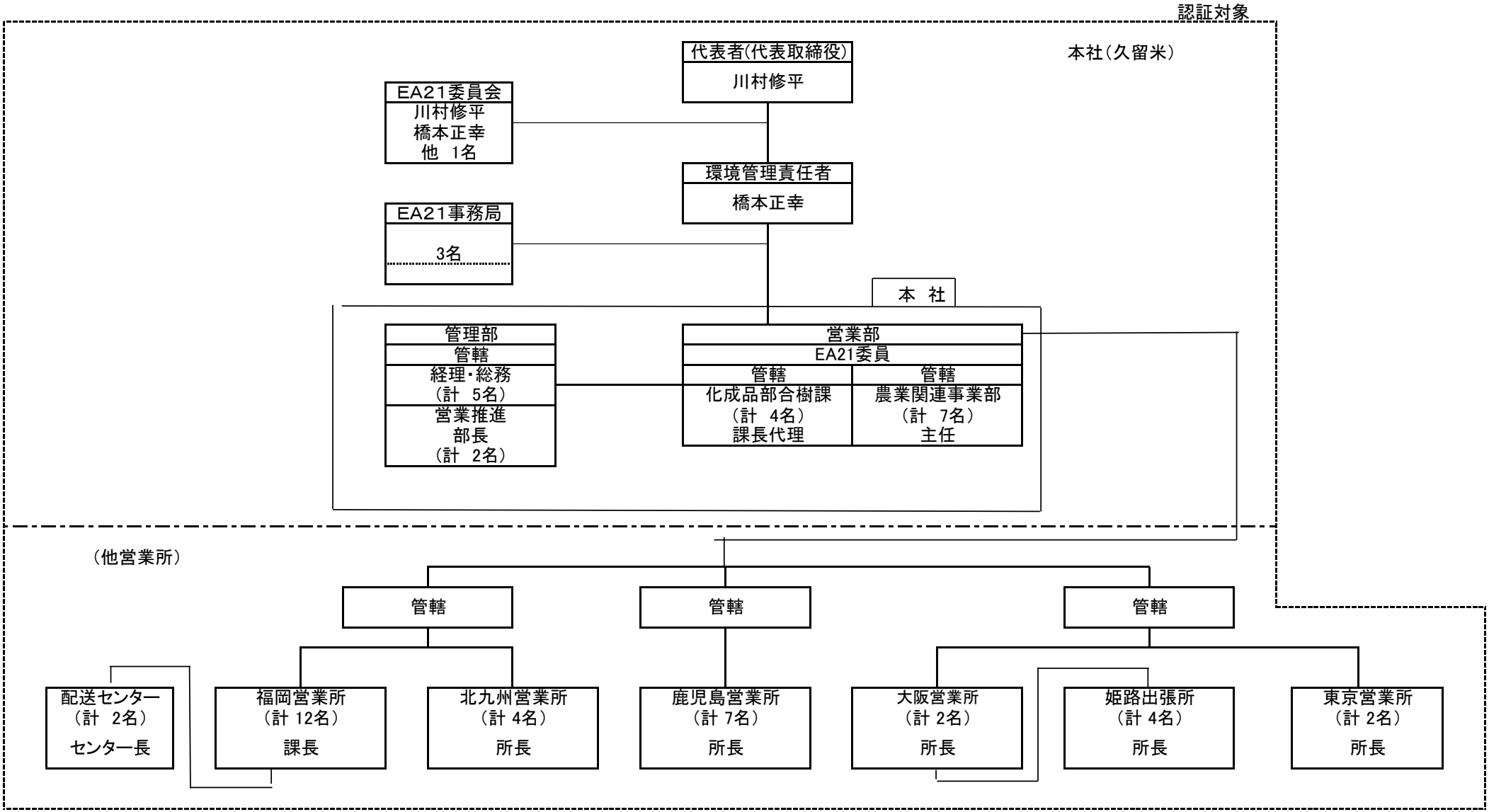
(5)事業の規模

	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	百万円	6,737	6,226	6,435	7,121
従業員数	人	60	58	57	60
面積	㎡	4,774	4,774	4,774	4,774

(6)認証・登録範囲　対象範囲：全組織

事業活動：食品原材料、包装資材、機械、合成樹脂原料及び関連製品、農業関連資材の販売

(7)EA21実施体制


認証対象
本社(久留米)
代表者(代表取締役)
川村修平
EA21委員会
川村修平
橋本正幸
他 1名
環境管理責任者
橋本正幸
EA21事務局
3名
本 社
管理部
管轄
経理・総務
(計 5名)
営業推進
部長
(計 2名)
営業部
EA21委員
管轄
化成品部合樹課
(計 4名)
課長代理
管轄
農業関連事業部
(計 7名)
主任
(他営業所)
管轄
管轄
管轄
配送センター
(計 2名)
センター長
福岡営業所
(計 12名)
課長
北九州営業所
(計 4名)
所長
鹿児島営業所
(計 7名)
所長
大阪営業所
(計 2名)
所長
姫路出張所
(計 4名)
所長
東京営業所
(計 2名)
所長

2. 環境経営方針

川村産業株式会社

地球の豊かな自然環境に抱かれている当社は【「いい会社」を創りましょう。－四方良しの実現－】の経営理念のもと環境との調和と、地域社会との共生を重要課題としています。

当社は環境に関する法令を遵守し営業活動によって生じる環境負荷を把握して、環境に対する影響の低減と美しい地球の自然環境を保全していくことに努めると共に、環境経営の継続的改善を行います。

1. 次の事項に取り組みます。

⑴ 廃棄物の削減及び再生利用の促進
・一般廃棄物の削減及び再生利用の促進
・食品廃棄物の削減
⑵ 二酸化炭素排出削減の取り組み
・電力・化石燃料の使用削減
・ハイブリッド車への切替
⑶ 水使用量の削減
⑷グリーン購入の推進

2. 自ら生産・販売・提供する製品及びサービスに関する項目

⑴ 製品の配送ルートを効率化する

3. 関係する環境関連法規を遵守します。

4. 地域貢献活動の推進

⑴ 事業所周辺の清掃活動
⑵ 地域ボランティアの参加

5. 各期の最後に「環境経営活動レポート」を作成し、公表します。

２０１３年　４月１日（制定日）
２０１９年１２月１日（改定日）
川村産業株式会社
代表取締役　川村 修平

3. 環境経営目標

*2020年度は2018年度実績の99%を設定しています。
*2021年度は2018年度実績の98%を設定しています。
*2022年度は2018年度実績の97%を設定しています。
*2023年度は2018年度実績の96%を設定しています。
※食品廃棄物排出量の削減は、受入れ時のチェックにより発生抑制をしており「0」目標としています。

環境経営目標		単位	該当事業所	2018年度実績	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	全社	171,029	169,318	167,608	165,898	164,188
			本社	59,191	58,599	58,007	57,415	56,823
			管理部	25,564	25,309	25,053	24,797	24,542
			合樹課	15,108	14,957	14,806	14,655	14,504
			農業関連	18,518	18,333	18,148	17,963	17,778
			福岡営業部	49,983	49,483	48,984	48,484	47,984
			北九州営業所	16,699	16,532	16,365	16,198	16,031
			鹿児島営業所	36,529	36,163	35,798	35,433	35,068
			大阪営業所	7,015	6,944	6,874	6,804	6,734
			東京営業所	1,613	1,597	1,581	1,565	1,548
(1)	電気使用量の削減(九電)	kWh	全社	84,129	83,288	82,446	81,605	80,764
			本社	36,966	36,596	36,227	35,857	35,487
			福岡営業部	9,991	9,891	9,791	9,691	9,591
			北九州営業所	18,110	17,929	17,748	17,567	17,386
			鹿児島営業所	9,320	9,227	9,134	9,040	8,947
	電気使用量の削減(関電)		大阪営業所	6,197	6,135	6,073	6,011	5,949
	電気使用量の削減(東電)		東京営業所	3,545	3,510	3,474	3,439	3,403
(2)	都市ガス使用量の削減	m3	全社	43	43	42	42	41
			本社	27	27	26	26	26
			福岡営業部	8	8	8	8	8
			北九州営業所	0	0	0	0	0
			鹿児島営業所	8	8	8	8	8
			大阪営業所	0	0	0	0	0
			東京営業所	0	0	0	0	0
(3)	ガソリン使用量の削減	L	全社	40,218	39,816	39,414	39,011	38,609
			本社	16,932	16,763	16,593	16,424	16,255
			管理部	5,465	5,410	5,356	5,301	5,246
			合樹課	6,512	6,447	6,382	6,317	6,252
			農業関連	4,955	4,905	4,856	4,806	4,757
			福岡営業部	8,604	8,518	8,432	8,346	8,260
			北九州営業所	4,489	4,444	4,399	4,354	4,309
			鹿児島営業所	8,611	8,525	8,439	8,353	8,267
			大阪営業所	1,582	1,566	1,550	1,535	1,519
			東京営業所	0	0	0	0	0
(4)	軽油使用量の削減	L	全社	18,657	18,470	18,284	18,097	17,911
			本社	2,722	2,695	2,668	2,640	2,613
			管理部	0	0	0	0	0
			合樹課	0	0	0	0	0
			農業関連	2,722	2,695	2,668	2,640	2,613
			福岡営業部	10,286	10,183	10,080	9,977	9,875
			北九州営業所	0	0	0	0	0
			鹿児島営業所	5,155	5,103	5,052	5,000	4,949
			大阪営業所	494	489	484	479	474
			東京営業所	0	0	0	0	0

*2020年度は2018年度実績の99%を設定しています。
*2021年度は2018年度実績の98%を設定しています。
*2022年度は2018年度実績の97%を設定しています。
*2023年度は2018年度実績の96%を設定しています。
※食品廃棄物排出量の削減は、受入れ時のチェックにより発生抑制をしており「0」目標としています。

環境経営目標		単位	該当事業所	2018年度実績	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
2	廃棄物関連		全社	18,821	18,633	18,445	18,256	18,068
			本社	4,450	4,406	4,361	4,317	4,272
			福岡営業部	400	396	392	388	384
(1)	一般廃棄物排出量の削減	kg	北九州営業所	11,520	11,405	11,290	11,174	11,059
			鹿児島営業所	177	175	173	172	170
			大阪営業所	2,169	2,147	2,126	2,104	2,082
			東京営業所	105	104	103	102	101
			全社	0	0	0	0	0
			本社	0	0	0	0	0
			福岡営業部	0	0	0	0	0
(2)	食品廃棄物排出量の削減	kg	北九州営業所	0	0	0	0	0
			鹿児島営業所	0	0	0	0	0
			大阪営業所	0	0	0	0	0
			東京営業所	0	0	0	0	0
			全社	470	465	461	456	451
			本社	238	236	233	231	228
			福岡営業部	0	0	0	0	0
3	水使用量の削減	m3	北九州営業所	53	52	52	51	51
			鹿児島営業所	52	51	51	50	50
			大阪営業所	100	99	98	97	96
			東京営業所	27	27	26	26	26
			全社					
4	自ら生産・販売・提供する製品及びサービスに関する項目		本社					
			福岡営業部					
			北九州営業所	実 施	実 施	実 施	実 施	実 施
	・製品の配送ルートを効率化する		鹿児島営業所					
			大阪営業所					
			東京営業所					
			全社	941	950	960	969	979
			本社	569	575	580	586	592
			福岡営業部	56	57	57	58	58
5	グリーン購入の推進	個数	北九州営業所	6	6	6	6	6
	・文房具の割合（品数）		鹿児島営業所	278	281	284	286	289
			大阪営業所	28	28	29	29	29
			東京営業所	4	4	4	4	4
			全社	1,523	1,470	1,470	1,470	1,470
6	地域貢献活動		本社	260	245	245	245	245
			福岡営業部	257	245	245	245	245
(1)	朝の事業所周辺の清掃	回数	北九州営業所	264	245	245	245	245
			鹿児島営業所	225	245	245	245	245
			大阪営業所	260	245	245	245	245
			東京営業所	257	245	245	245	245
			全社	42	41	41	41	41
			本社	14	17	17	17	17
			管理部	1	4	4	4	4
			合樹課	9	9	9	9	9
			農業関連	4	4	4	4	4
(2)	地域清掃の実施	回数						
	(地域ボランティアの参加)		福岡営業部	12	8	8	8	8
			北九州営業所	0	4	4	4	4
			鹿児島営業所	12	4	4	4	4
			大阪営業所	0	4	4	4	4
			東京営業所	4	4	4	4	4

４．主要な環境経営計画

4-1 二酸化炭素排出量削減のための取組

(1) 電気使用量の削減（2018 年度実績比△3%）

① エアコンの温度調整をまめに行う

② 使用していないパソコンの電源を切る

③ 昼休み時間の消灯

④ 最後に帰る者が不要な電気がついていないか確認して帰る

(2) ガソリン・軽油の使用量削減（2018 年度実績比△3%））

① エコドライブの実施

② 空気圧のチェック

③ ハイブリッド車への切替

4-2 廃棄物排出量削減のための取組（2018 年度実績比△3%）

(1) 一般廃棄物排出量の削減

① 不要な商品を購入しない。

② 使い捨て商品の使用や購入の抑制

(2) 食品廃棄物排出量の削減

① 営業活動における破損品などの抑制及び再生利用

4-3 水使用量削減のための取組（2018 年度実績比△3%）

① 節水ラベルのチェック

4-4 自ら生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組み

① 製品配送ルートの効率化

4-5 グリーン購入の推進（2018 年度実績比＋3%）

① グリーン購入相当品の調査・購入

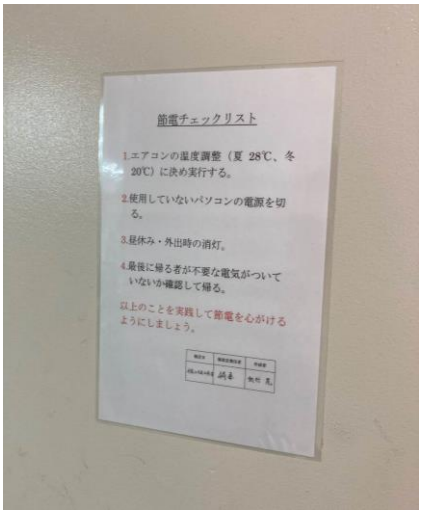
4-6 地域貢献活動の推進

①朝の事業所周辺の清掃

②地域清掃の実施（地域ボランティアの参加）

５．環境経営計画に基づく取組内容

『二酸化炭素排出量削減のための取組内容』



①エアコンの温度調整をまめに行う

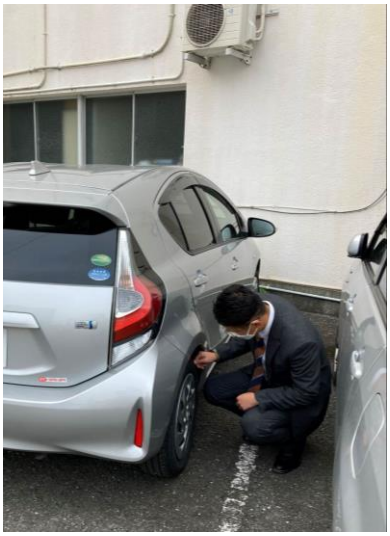
②使用していないパソコンの電源を切る

③昼休み時間の消灯

④最後に帰る者が不要な電気がついていないか確認して帰る

【節電チェックリスト】の掲示

【エコドライブ１０のすすめ】ポスター掲示



【空気圧のチェック】

【ハイブリッド車への切替】

『水使用量削減のための取組』

【節水ラベル】の掲示

『地域貢献活動の推進』

【朝の事業所周辺の清掃】

6. 環境経営目標の実績　　全社

エコアクション21を運用した2021年12月～2022年11月における目標に対する実績は次の通りであった。
＊使用電力の二酸化炭素排出量は、各電力会社の2018年度の調整後排出係数を使用して算出した。
（九州電力　0.347kg-CO_2/kWh　　関西電力　0.334kg-CO_2/kWh　　東京電力　0.455kg-CO_2/kWh）

	単位	2018年度実績	2021年12月～2022年11月の目標	2021年12月～2022年11月の実績	達成状況	達成率
二酸化炭素排出量3%削減	kg-CO_2	171,029	165,898 月平均 13,825	137,747 月平均 11,479	○	116.97
九州電力 電気使用量3%削減	kWh	74,387	72,155 月平均 6,013	77,801 月平均 6,483	×	92.18
関西電力 電気使用量3%削減	kWh	6,197	6,011 月平均 501	7,850 月平均 654	×	69.41
東京電力 電気使用量3%削減	kWh	3,545	3,493 月平均 291	3,052 月平均 254	○	112.63
ガソリン使用量3%削減	L	40,218	39,011 月平均 3,251	25,930 月平均 2,161	○	133.53
軽油使用量3%削減	L	18,657	18,097 月平均 1,508	18,040 月平均 1,503	○	100.31
都市ガス使用量3%削減	Nm3	43	42 月平均 4	18 月平均 2	○	157.14
廃棄物排出量3%削減	kg	18,821	18,256 月平均 1,521	11,137 月平均 928	○	139.00
食品廃棄物排出量の削減	kg	0	0	0	○	
水使用量3%削減	m3	470	456 月平均 38	364 月平均 30	○	120.18
製品の配送ルートを効率化する		実施	実施	実施	○	
グリーン購入の推進 購入個数3%増加	購入個数	941	969	459	×	47.37
朝の事業所周辺の清掃 出勤日は毎朝1回	回数	1,523	1,470	1,451	×	98.71
地域清掃の実施 （地域ボランティアの参加） 部門毎に3ヶ月に1回	回数	42	41	41	○	100.00

その他取組事項 エコキャップ回収	個	900	0	1,000	

※削減が目標の項目の達成率は、（目標値-実績値）/目標値+1に100を掛けて算出しています。
※増加が目標の項目の達成率は、（実績値-目標値）/目標値+1に100を掛けて算出しています。

部門評価	CO2排出量目標は達成(前年比98%)。要因はガソリン量節減が大きく影響、コロナ対応で営業活動が制限された為。電気量は九州と関西が目標未達、これはコロナ影響による在社時間増もあるが夏の猛暑日の増加によるエアコン使用の影響が大きいと思われる。廃棄物量は年1回も書類廃棄量の減少で(前年比83%)目標達成。グリーン購入未達も購入総量の減少で不要品の購入も無く問題視しない。 地域清掃はコロナ対応の影響あるがなんとか達成となった。 来期もコロナ影響もあるが、環境経営計画の各項目の取組む。

6. 環境経営目標の実績　　本社

エコアクション21を運用した2021年12月～2022年11月における目標に対する実績は次の通りであった。
＊使用電力の二酸化炭素排出量は、各電力会社の2018年度の調整後排出係数を使用して算出した。
（九州電力　0.347kg-CO_2/kWh　　関西電力　0.334kg-CO_2/kWh　　東京電力　0.455kg-CO_2/kWh）

	単位	2018年度実績	2021年12月～2022年11月の目標	2021年12月～2022年11月の実績	達成状況	達成率
二酸化炭素排出量3%削減	kg-CO_2	59,191	57,415 月平均 4,785	45,954 月平均 3,830	○	119.96
九州電力 電気使用量3%削減	kWh	36,966	35,857 月平均 2,988	39,318 月平均 3,277	×	90.35
関西電力 電気使用量3%削減	kWh					
東京電力 電気使用量3%削減	kWh					
ガソリン使用量3%削減	L	16,932	16,424 月平均 1,369	10,829 月平均 902	○	134.07
軽油使用量3%削減	L	2,722	2,640 月平均 220	2,779 月平均 232	×	94.73
都市ガス使用量3%削減	Nm3	27	26 月平均 2	8 月平均 1	○	169.23
廃棄物排出量3%削減	kg	4,450	4,317 月平均 360	1,952 月平均 163	○	154.78
食品廃棄物排出量の削減	kg	0	0	0	○	
水使用量3%削減	m3	238	231 月平均 19	176 月平均 15	○	123.81
製品の配送ルートを効率化する		実施	実施	実施	○	
グリーン購入の推進 購入個数3%増加	購入個数	569	580	120	×	20.69
朝の事業所周辺の清掃 出勤日は毎朝1回	回数	260	245	245	○	100.00
地域清掃の実施 （地域ボランティアの参加） 部門毎に3ヶ月に1回	回数	14	17	18	○	105.88

その他取組事項 エコキャップ回収	個	900	0	1,000	

※削減が目標の項目の達成率は、(目標値-実績値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。
※増加が目標の項目の達成率は、(実績値-目標値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

部門評価	コロナ対応で営業部門及び管理部門の活動は引続き制限されガソリン量は抑制された。 配送増により軽油量増、電力量目標に及ばずもガソリン量軽減効果が大きくCO2排出量目標は達成。 廃棄物関係も目標軽減で達成。節電は来期も課題としより一層の認識で取組む。 清掃関係はコロナ感染防止対策を講じ実施でき目標クリア。

6. 環境経営目標の実績　　管理部

エコアクション21を運用した2021年12月～2022年11月における目標に対する実績は次の通りであった。
＊使用電力の二酸化炭素排出量は、各電力会社の2018年度の調整後排出係数を使用して算出した。
（九州電力　0.347kg-CO_2/kWh　　関西電力　0.334kg-CO_2/kWh　　東京電力　0.455kg-CO_2/kWh）

	単位	2018年度実績	2021年12月～2022年11月の目標	2021年12月～2022年11月の実績	達成状況	達成率
二酸化炭素排出量3%削減	kg-CO_2	25,564	24,797 月平均 2,066	22,386 月平均 1,866	○	109.72
九州電力 電気使用量3%削減	kWh	36,966	35,857 月平均 2,988	39,318 月平均 3,277	×	90.35
関西電力 電気使用量3%削減	kWh					
東京電力 電気使用量3%削減	kWh					
ガソリン使用量3%削減	L	5,465	5,301 月平均 442	3,761 月平均 313	○	129.05
軽油使用量3%削減	L	0				
都市ガス使用量3%削減	Nm3	27	26 月平均 2	8 月平均 1	○	169.23
廃棄物排出量3%削減	kg	4,450	4,317 月平均 360	1,952 月平均 163	○	154.78
食品廃棄物排出量の削減	kg	0	0	0	○	
水使用量3%削減	m3	239	231 月平均 19	176 月平均 15	○	123.81
製品の配送ルートを効率化する		実施	実施	実施	○	
グリーン購入の推進 購入個数3%増加	購入個数	569	586	120	×	20.48
朝の事業所周辺の清掃 出勤日は毎朝1回	回数	260	245	245	○	100.00
地域清掃の実施 （地域ボランティアの参加） 部門毎に3ヶ月に1回	回数	1	4	9	○	225.00

その他取組事項 エコキャップ回収	個	900	0	1,000	

※削減が目標の項目の達成率は、(目標値-実績値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。
※増加が目標の項目の達成率は、(実績値-目標値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

部門評価	CO2排出量目標は達成、ガソリンと都市ガス使用量節減によるもの。電気使用量は前年比101.5% となりエコ21目標未達。在宅勤務より出社も営業外出の制限は継続で在社による事務所電気 使用量が増加と思われる。廃棄物は前年比65%更にエコ21目標も目標達成、年1回の書類廃棄量の減。 清掃関係はコロナ感染防止対策で少人数により実施でき、目標達成。

6. 環境経営目標の実績　　化成品部合樹課

エコアクション21を運用した2021年12月～2022年11月における目標に対する実績は次の通りであった。
＊使用電力の二酸化炭素排出量は、各電力会社の2018年度の調整後排出係数を使用して算出した。
（九州電力　0.347kg-CO_2/kWh　　関西電力　0.334kg-CO_2/kWh　　東京電力　0.455kg-CO_2/kWh）

	単位	2018年度実績	2021年12月～2022年11月の目標	2021年12月～2022年11月の実績	達成状況	達成率
二酸化炭素排出量3%削減	kg-CO_2	15,108	14,655 月平均 1,221	4,123 月平均 344	○	171.87
九州電力 電気使用量3%削減	kWh					
関西電力 電気使用量3%削減	kWh					
東京電力 電気使用量3%削減	kWh					
ガソリン使用量3%削減	L	6,512	6,317 月平均 526	1,777 月平均 148	○	171.87
軽油使用量3%削減	L					
都市ガス使用量3%削減	Nm3					
廃棄物排出量3%削減	kg					
食品廃棄物排出量の削減	kg					
水使用量3%削減	m3					
製品の配送ルートを効率化する		実施	実施	実施	○	
グリーン購入の推進 購入個数3%増加	購入個数					
朝の事業所周辺の清掃 出勤日は毎朝1回	回数					
地域清掃の実施 （地域ボランティアの参加） 部門毎に3ヶ月に1回	回数	9	9	3	×	33.33

その他取組事項 エコキャップ回収	個				

※削減が目標の項目の達成率は、（目標値-実績値）/目標値+1に100を掛けて算出しています。
※増加が目標の項目の達成率は、（実績値-目標値）/目標値+1に100を掛けて算出しています。

部門評価	管轄人員が管理部へ移行の3年目、ガソリン量の目標より大きく軽減で目標達成も 前年比は116%で営業活動は増加させ営業目標達成を目指す。 結果、CO2排出量目標も達成。地域清掃はコロナ影響ありも一部再開も未達。

6. 環境経営目標の実績　　農業関連事業部

エコアクション21を運用した2021年12月～2022年11月における目標に対する実績は次の通りであった。
＊使用電力の二酸化炭素排出量は、各電力会社の2018年度の調整後排出係数を使用して算出した。
（九州電力　0.347kg-CO_2/kWh　　関西電力　0.334kg-CO_2/kWh　　東京電力　0.455kg-CO_2/kWh）

	単位	2018年度実績	2021年12月～2022年11月の目標	2021年12月～2022年11月の実績	達成状況	達成率
二酸化炭素排出量3%削減	kg-CO_2	18,518	17,963 月平均 1,497	19,445 月平均 1,620	×	91.75
九州電力 電気使用量3%削減	kWh					
関西電力 電気使用量3%削減	kWh					
東京電力 電気使用量3%削減	kWh					
ガソリン使用量3%削減	L	4,955	4,806 月平均 401	5,291 月平均 441	×	89.91
軽油使用量3%削減	L	2,722	2,640 月平均 220	2,779 月平均 232	×	94.73
都市ガス使用量3%削減	Nm3					
廃棄物排出量3%削減	kg					
食品廃棄物排出量の削減	kg					
水使用量3%削減	m3					
製品の配送ルートを効率化する		実施	実施	実施	○	
グリーン購入の推進 購入個数3%増加	購入個数					
朝の事業所周辺の清掃 出勤日は毎朝1回	回数					
地域清掃の実施 （地域ボランティアの参加） 部門毎に3ヶ月に1回	回数	4	4	6	○	150.00

その他取組事項 エコキャップ回収	個				

※削減が目標の項目の達成率は、（目標値-実績値）/目標値+1に100を掛けて算出しています。
※増加が目標の項目の達成率は、（実績値-目標値）/目標値+1に100を掛けて算出しています。

部門評価	コロナでの営業外出抑制はあるも営業活動増加させガソリン量前年比1割増で未達。 配送の増加傾向は続き軽油使用量(前年比105%)で目標も未達。結果、CO2排出量目標は未達。 地域清掃はコロナ感染防止対策での参加で今年も目標達成、来年も継続したい。

6. 環境経営目標の実績　　福岡営業部

エコアクション21を運用した2021年12月～2022年11月における目標に対する実績は次の通りであった。
＊使用電力の二酸化炭素排出量は、各電力会社の2018年度の調整後排出係数を使用して算出した。
（九州電力　0.347kg-CO_2/kWh　　関西電力　0.334kg-CO_2/kWh　　東京電力　0.455kg-CO_2/kWh）

	単位	2018年度実績	2021年12月～2022年11月の目標	2021年12月～2022年11月の実績	達成状況	達成率
二酸化炭素排出量3%削減	kg-CO_2	49,983	48,484 月平均 4,040	43,935 月平均 3,661	○	109.38
九州電力 電気使用量3%削減	kWh	9,991	9,691 月平均 808	15,365 月平均 1,280	×	41.45
関西電力 電気使用量3%削減	kWh					
東京電力 電気使用量3%削減	kWh					
ガソリン使用量3%削減	L	8,604	8,346 月平均 696	6,089 月平均 507	○	127.04
軽油使用量3%削減	L	10,286	9,977 月平均 831	9,487 月平均 791	○	104.91
都市ガス使用量3%削減	Nm3	8	8 月平均 1	0 月平均 0	○	200.00
廃棄物排出量3%削減	kg	400	388 月平均 32	542 月平均 45	×	60.31
食品廃棄物排出量の削減	kg	0	0	0	○	
水使用量3%削減	m3	0	0 月平均 0	0 月平均 0	○	
製品の配送ルートを効率化する		実施	実施	実施	○	
グリーン購入の推進 購入個数3%増加	購入個数	56	58	76	○	131.03
朝の事業所周辺の清掃 出勤日は毎朝1回	回数	257	245	247	○	100.82
地域清掃の実施 （地域ボランティアの参加） 部門毎に3ヶ月に1回	回数	12	8	4	×	50.00

その他取組事項 エコキャップ回収	個				

※削減が目標の項目の達成率は、（目標値-実績値）/目標値+1に100を掛けて算出しています。
※増加が目標の項目の達成率は、（実績値-目標値）/目標値+1に100を掛けて算出しています。

部門評価	旧事務所ベースの電気量目標の為、未達も節電取組み内容を地道に取組む。コロナ影響による ガソリン、軽油は昨年より軽減し目標も達成、結果CO2排出量目標は達成。 事務所拡充によりゴミも増加し未達、前年比も1割増、節減に努め目標クリアしたい。 地域清掃はコロナ感染対応により一部再開も未達。

6. 環境経営目標の実績　　北九州営業所

エコアクション21を運用した2021年12月～2022年11月における目標に対する実績は次の通りであった。
＊使用電力の二酸化炭素排出量は、各電力会社の2018年度の調整後排出係数を使用して算出した。
（九州電力　0.347kg-CO_2/kWh　　関西電力　0.334kg-CO_2/kWh　　東京電力　0.455kg-CO_2/kWh）

	単位	2018年度実績	2021年12月～2022年11月の目標	2021年12月～2022年11月の実績	達成状況	達成率
二酸化炭素排出量3%削減	kg-CO_2	16,699	16,198 月平均 1,350	10,750 月平均 896	○	133.63
九州電力 電気使用量3%削減	kWh	18,110	17,567 月平均 1,464	14,974 月平均 1,248	○	114.76
関西電力 電気使用量3%削減	kWh					
東京電力 電気使用量3%削減	kWh					
ガソリン使用量3%削減	L	4,489	4,354 月平均 363	2,394 月平均 200	○	145.02
軽油使用量3%削減	L					
都市ガス使用量3%削減	Nm3	0	0 月平均 0	0 月平均 0	○	#DIV/0!
廃棄物排出量3%削減	kg	11,520	11,174 月平均 931	6,610 月平均 551	○	140.84
食品廃棄物排出量の削減	kg	0	0	0	○	
水使用量3%削減	m3	53	51 月平均 4	42 月平均 4	○	117.65
製品の配送ルートを効率化する		実施	実施	実施	○	
グリーン購入の推進 購入個数3%増加	購入個数	6	6	10	○	166.67
朝の事業所周辺の清掃 出勤日は毎朝1回	回数	264	245	244	×	99.59
地域清掃の実施 （地域ボランティアの参加） 部門毎に3ヶ月に1回	回数	0	4	0	×	0.00

その他取組事項 エコキャップ回収	個				

※削減が目標の項目の達成率は、（目標値-実績値）/目標値+1に100を掛けて算出しています。
※増加が目標の項目の達成率は、（実績値-目標値）/目標値+1に100を掛けて算出しています。

部門評価	コロナ影響によるガソリン使用減少継続、電気は温度調整必要な商品保管数量の減少で 空調電気軽減で目標達成。結果、CO2排出量目標達成。 廃棄物量は段ボール廃棄量減により前年比82%、目標を大きくクリア。 グリーン購入は少ないながら目標達成。地域清掃の情報収集は継続する。

6. 環境経営目標の実績　　鹿児島営業所

エコアクション21を運用した2021年12月～2022年11月における目標に対する実績は次の通りであった。
＊使用電力の二酸化炭素排出量は、各電力会社の2018年度の調整後排出係数を使用して算出した。
（九州電力　0.347kg-CO_2/kWh　　関西電力　0.334kg-CO_2/kWh　　東京電力　0.455kg-CO_2/kWh）

	単位	2018年度実績	2021年12月～2022年11月の目標	2021年12月～2022年11月の実績	達成状況	達成率
二酸化炭素排出量3%削減	kg-CO_2	36,529	35,433 月平均 2,953	26,086 月平均 2,174	○	126.38
九州電力 電気使用量3%削減	kWh	9,320	9,040 月平均 753	8,144 月平均 679	○	109.91
関西電力 電気使用量3%削減	kWh					
東京電力 電気使用量3%削減	kWh					
ガソリン使用量3%削減	L	8,611	8,353 月平均 696	4,613 月平均 384	○	144.77
軽油使用量3%削減	L	5,155	5,000 月平均 417	4,865 月平均 405	○	102.70
都市ガス使用量3%削減	Nm3	8	8 月平均 1	3 月平均 0	○	162.50
廃棄物排出量3%削減	kg	177	172 月平均 14	126 月平均 11	○	126.74
食品廃棄物排出量の削減	kg	0	0	0	○	
水使用量3%削減	m3	52	50 月平均 4	62 月平均 5	×	76.00
製品の配送ルートを効率化する		実施	実施	実施	○	
グリーン購入の推進 購入個数3%増加	購入個数	278	286	201	×	70.28
朝の事業所周辺の清掃 出勤日は毎朝1回	回数	225	245	226	×	92.24
地域清掃の実施 （地域ボランティアの参加） 部門毎に3ヶ月に1回	回数	12	4	12	○	300.00

その他取組事項 エコキャップ回収	個				

※削減が目標の項目の達成率は、（目標値-実績値）/目標値+1に100を掛けて算出しています。
※増加が目標の項目の達成率は、（実績値-目標値）/目標値+1に100を掛けて算出しています。

部門評価	コロナ影響による営業活動制限もガソリン使用量は前年比101%弱、目標は達成。軽油は配送量変わらず前年比99%、目標は達成。電気量(前年比111%)目標は達成。結果、CO2排出量目標達成。 地域清掃も前年より継続でコロナ感染防止対策を行い参加、目標達成。来期も継続したい。

6. 環境経営目標の実績　　大阪営業所

エコアクション21を運用した2021年12月～2022年11月における目標に対する実績は次の通りであった。
＊使用電力の二酸化炭素排出量は、各電力会社の2018年度の調整後排出係数を使用して算出した。
（九州電力　0.347kg-CO_2/kWh　　関西電力　0.334kg-CO_2/kWh　　東京電力　0.455kg-CO_2/kWh）

	単位	2018年度実績	2021年12月～2022年11月の目標	2021年12月～2022年11月の実績	達成状況	達成率
二酸化炭素排出量3%削減	kg-CO_2	7,015	6,804 月平均 567	9,619 月平均 802	×	58.63
九州電力 電気使用量3%削減	kWh					
関西電力 電気使用量3%削減	kWh	6,197	6,011 月平均 501	7,850 月平均 654	×	69.41
東京電力 電気使用量3%削減	kWh					
ガソリン使用量3%削減	L	1,582	1,535 月平均 128	2,005 月平均 167	×	69.38
軽油使用量3%削減	L	494	479 月平均 40	909 月平均 76	×	10.23
都市ガス使用量3%削減	Nm3	0				
廃棄物排出量3%削減	kg	2,169	2,104 月平均 175	1,846 月平均 154	○	112.26
食品廃棄物排出量の削減	kg	0	0	0	○	
水使用量3%削減	m3	100	97 月平均 8	51 月平均 4	○	147.42
製品の配送ルートを効率化する		実施	実施	実施	○	
グリーン購入の推進 購入個数3%増加	購入個数	28	29	52	○	179.31
朝の事業所周辺の清掃 出勤日は毎朝1回	回数	260	245	247	○	100.82
地域清掃の実施 （地域ボランティアの参加） 部門毎に3ヶ月に1回	回数	0	4	0	×	0.00

その他取組事項 エコキャップ回収	個				

※削減が目標の項目の達成率は、（目標値-実績値）/目標値+1に100を掛けて算出しています。
※増加が目標の項目の達成率は、（実績値-目標値）/目標値+1に100を掛けて算出しています。

部門評価	前年の営業人員増、コロナ感染防止対応の営業車通勤は後半終了で前年よりガソリン量減少により、CO2排出量も目標未達も前年比わずかに減少。電気量、軽油使用増加によりCO2排出量目標未達未達も引続き、節減項目に取組む。 廃棄物量、水資料量は目標達成。地域清掃は地区の情報が無い状況だがアンテナ高くし収集に努める。

6. 環境経営目標の実績　　東京営業所

エコアクション21を運用した2021年12月～2022年11月における目標に対する実績は次の通りであった。
＊使用電力の二酸化炭素排出量は、各電力会社の2018年度の調整後排出係数を使用して算出した。
（九州電力　0.347kg-CO_2/kWh　　関西電力　0.334kg-CO_2/kWh　　東京電力　0.455kg-CO_2/kWh）

	単位	2018年度実績	2021年12月～2022年11月の目標	2021年12月～2022年11月の実績	達成状況	達成率
二酸化炭素排出量3%削減	kg-CO_2	1,613	1,565 月平均 130	1,404 月平均 117	○	110.29
九州電力 電気使用量3%削減	kWh					
関西電力 電気使用量3%削減	kWh					
東京電力 電気使用量3%削減	kWh	3,545	3,439 月平均 287	3,052 月平均 254	○	111.25
ガソリン使用量3%削減	L					
軽油使用量3%削減	L					
都市ガス使用量3%削減	Nm3	0	0 月平均 0	7 月平均 1	×	#DIV/0!
廃棄物排出量3%削減	kg	105	102 月平均 9	61 月平均 5	○	140.20
食品廃棄物排出量の削減	kg	0	0	0	○	
水使用量3%削減	m3	27	26 月平均 2	33 月平均 3	×	73.08
製品の配送ルートを効率化する		実施	実施	実施	○	
グリーン購入の推進 購入個数3%増加	購入個数	4	4	0	×	0.00
朝の事業所周辺の清掃 出勤日は毎朝1回	回数	257	245	242	×	98.78
地域清掃の実施 （地域ボランティアの参加） 部門毎に3ヶ月に1回	回数	4	4	7	○	175.00

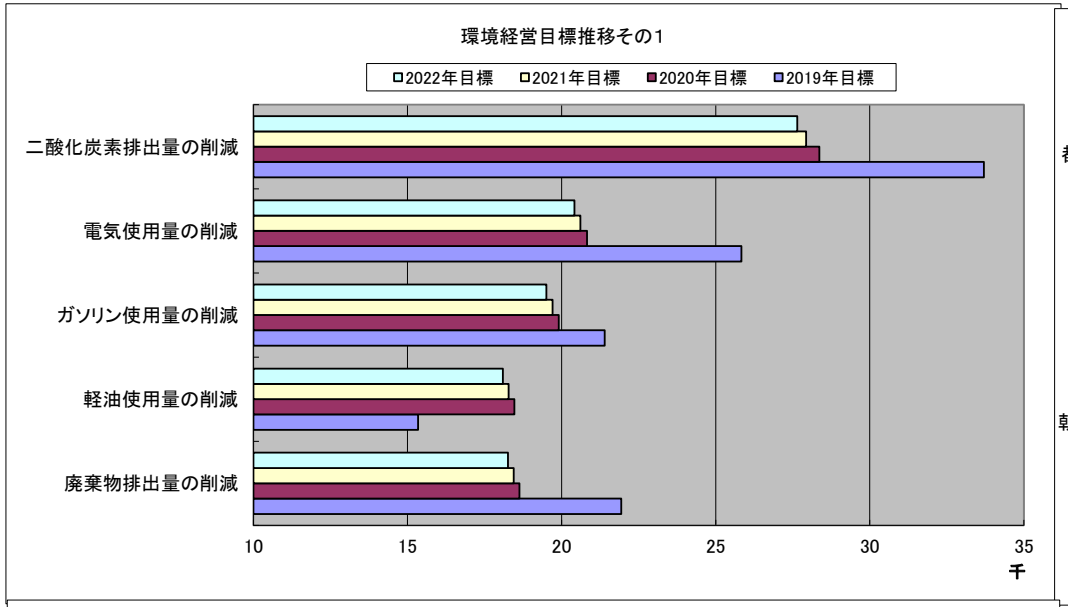
その他取組事項 エコキャップ回収	個				

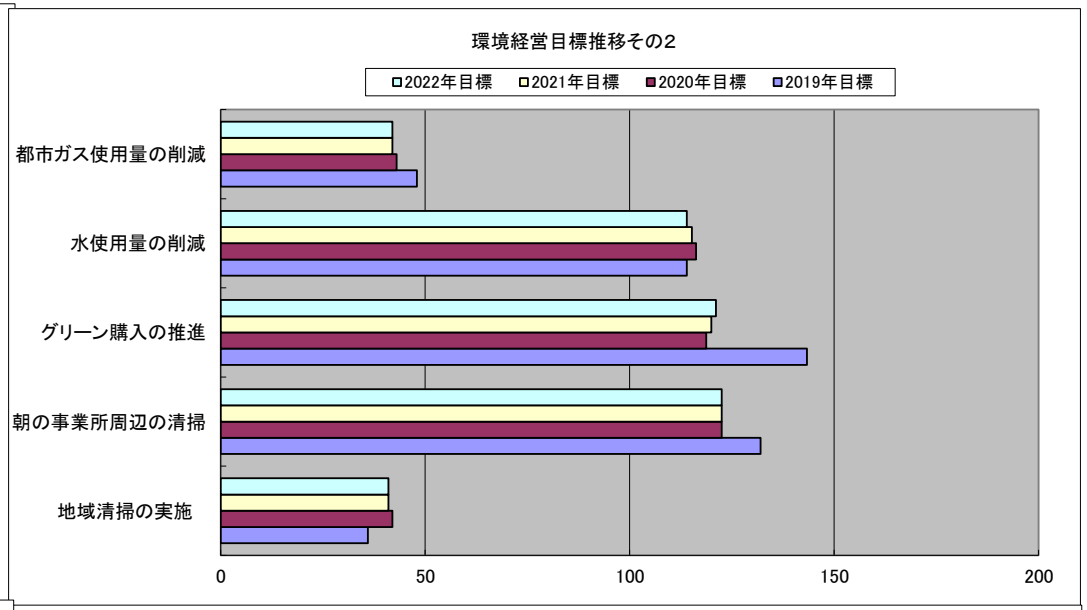
※削減が目標の項目の達成率は、（目標値-実績値）/目標値+1に100を掛けて算出しています。
※増加が目標の項目の達成率は、（実績値-目標値）/目標値+1に100を掛けて算出しています。

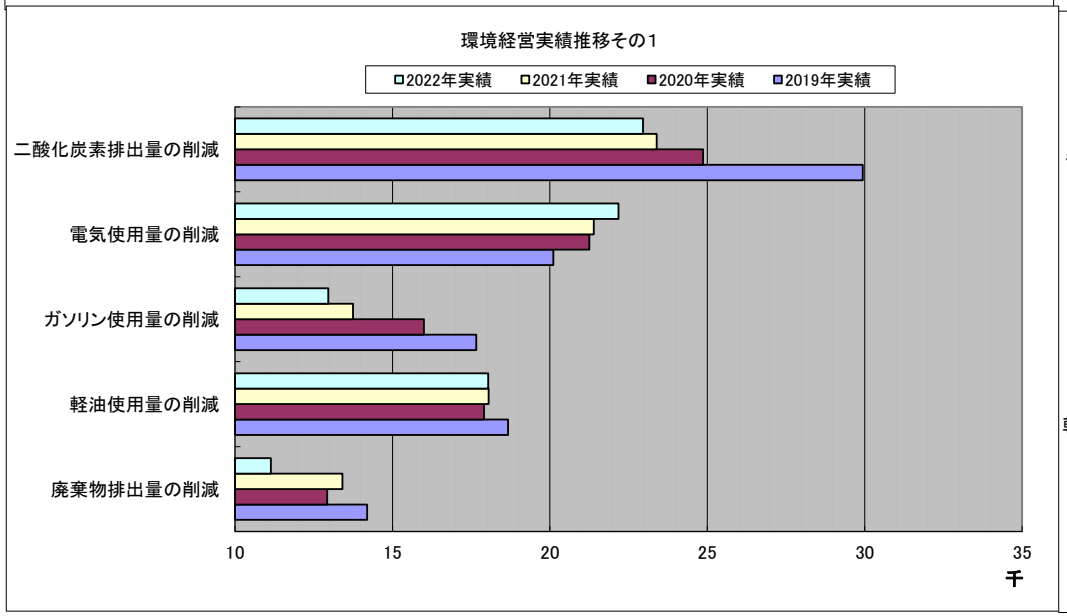
部門評価	前年同様に都市ガスを冬場の手洗い励行用で予定外使用も電気使用量の節減量が大きく、 CO2排出量目標は達成。 廃棄物量は年1回の書類整理も回数を重ね減少で目標達成。 地域清掃は、昨年より継続でき目標達成。

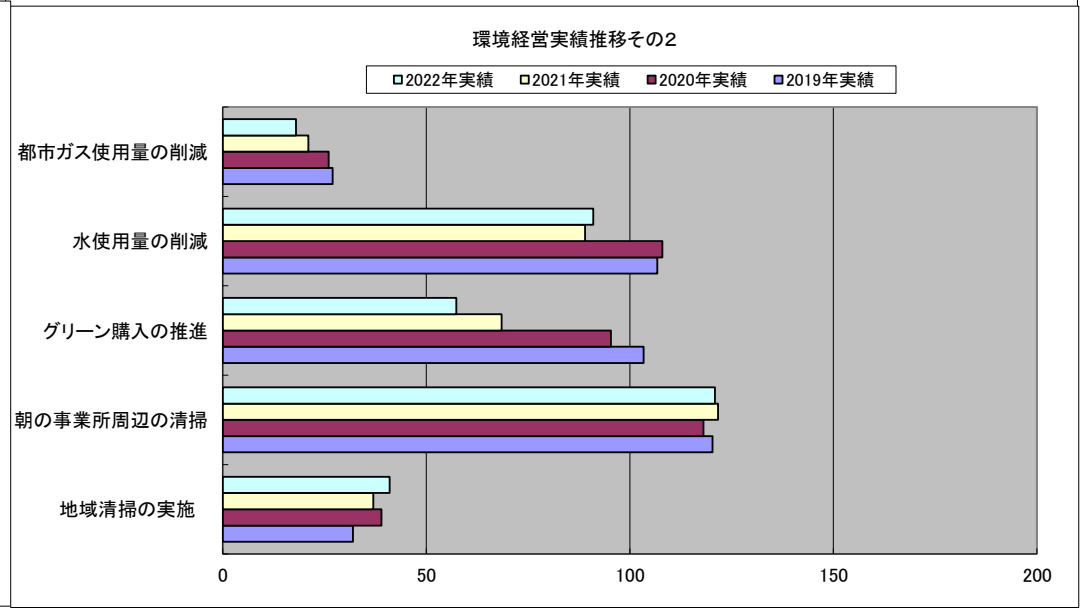
環境経営目標と実績推移グラフ

*2019年度は2014年度実績の96%を設定しています。
*2020年度は2018年度実績の99%を設定しています。←これより目標再設定。これより毎年1%軽減し2023年で2018年実績の96%。
*2021年度は2018年度実績の98%を設定しています。
*2022年度は2018年度実績の97%を設定しています。



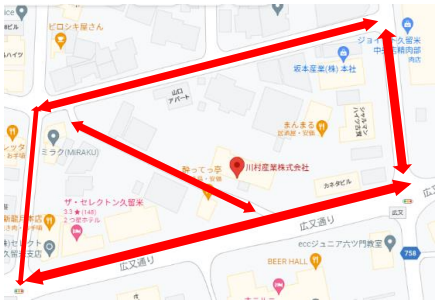






取組内容 「地域清掃活動」	確認日	2022年11月25日
	確認者	橋本
	記録者	御厨

参加者	年月日　　活動場所
本社勤務,、役員及び社員（19名）	2022年11月25日　　本社周辺

取組内容	地図：下記赤線部
ほうき・塵取りによる清掃活動 及び飲料容器などの回収	

写真など

担当者　評価

継続する

7. 環境経営活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容

7-1 二酸化炭素排出量の削減（－１７％）

二酸化炭素の排出量は目標数値より１７％少ない排出量と成り３％削減目標を大きく達成。前年比では９８．１％。←ここまで

主因は、電気使用量（東京）・ガソリン使用量・都市ガス使用量の目標達成によるもの。ガソリン使用量は、目標の３４％軽減で営業車のハイブリッド車導入を今期３台行った事とエコドライブ推進効果による節減及び若干緩和傾向だが新型コロナウィルス影響による営業活動抑制によるもの。

次年度もハイブリッド車導入を予定しており車の性能向上も見られ更なる節減効果を期待している。軽油使用量は、配送トラック稼働が全般的に上向きしており前年より若干節減も目標に３％及ばず未達となった。営業活動による配送増加は歓迎することで抑制はしないが、配送効率化の検討とエコドライブの実践で節減に努める。

電気使用量は前年同様に九州、関西においてコロナウィルス影響で営業担当の社内業務と夏場の猛暑によるエアコン使用増加により電気使用量増加、結果目標未達と成った。

車輌燃料効率指標として算出３回目の燃費は、１３．８７１ｋｍ／Ｌ前年の１４．１１３ｋｍ／Ｌより若干減少した。理由は複合的な要因が考えられハッキリしないが、今後も算出し比較する。

7-2 廃棄物排出量削減のための取組（－３９％）

廃棄物排出量の削減は引続き意識を持って排出量軽減に取組んだ結果、前年の－１７％より更に大きく目標値を達成した。大きな要因は、毎年取り組んでいる５Ｓ活動の年１回の書類廃棄の継続で年間の排出量が減少しているためと営業状況の変化により段ボール廃棄量の減少が要因。

又、営業の商品パンフレット類は、ほぼ全てデータ化され更にコロナ禍の影響で電子的受け渡しのため「紙」が減少し廃棄不要と成っている。印刷も必要毎に限り行うこととし廃棄物量削減に努めている。

食品廃棄物も目標達成。食品関連商品の取扱いは年々安心安全の要求が増し仕入れ時の荷扱いも保護材を使用し破損防止を行っており商品への異物混入も回避する状況があり事故発生は更に減少しているが皆無ではない。発生時は仕入先責任範囲で仕入先による対応と成っている事は変わり無い。安心・安全な商品の供給で商品取扱いには十分注意をしており結果として事故抑制になっている、事故による損失は出さないことで引続き取組む。

7-3 水使用量削減のための取組（－２０％）

水使用量は、前期に引続き今年度も達成。

本社と大阪の節減が他部門の目標超過をカバーした。引続き効率良い利用を推進し節減に取組む。節水ラベルにより節水意識をより定着させ継続した節減に努め目標達成を目指す。

7-4 製品の配送ルートを効率化する

配送先へ事前に配送予定内容の確認を行いルート上の配送日をまとめる取組、配送品の数量をまとめる相談の取組を常に行うことは定着している。配送は今期も増加しており新たな配送先発生及びコロナ影響による配送先変更もある為、より効率化を考え営業的にも先様と打合せを行い対応している。次年度もより良い配送ルート効率化を目指す。

7-5 グリーン購入の推進（－５１０個）

今年度も前年より購入自体の必要性が少なく購入総量減少で目標未達。実績は４５９個で前年比８９個減少している。購入は引続き必要毎の調達で問題ない。購入時のグリーン購入対象品を選択する意識は定着しており、次年度も購入時はグリーン商品を最優先で選定する。

7-6 地域貢献活動の推進

朝の事業所周辺の清掃は、習慣化しており継続して実施している。新型コロナウィルス感染防止対応で清掃活動の見送りは解消したが、天候の要因で中止した日があり目標未達となった。

地域清掃の実施については、今期は目標通りでなんとか達成できた。要因は新型コロナウィルス感染防止対応による活動自粛が地域で違いがあるが一部解消された為と思われる。

次年度もコロナ影響は残ると思われるが情報収集に努め目標達成を目指し取組む。

その他取組事項

前年同様、エコキャップの回収を継続して行っている。当期は 1,000 個（前期 1,000 個）のエコキャップを回収した、今後も継続する。

8. 主要な次年度環境経営計画

8-1 二酸化炭素排出量削減のための取組

(1) 電気使用量の削減（2018 年度実績比△4%）

① エアコンの温度調整をまめに行う

② 使用していないパソコンの電源を切る

③ 昼休み時間の消灯

④ 最後に帰る者が不要な電気がついていないか確認して帰る

(2) ガソリン・軽油の使用量削減（2018 年度実績比△4%）

① エコドライブの実施

② 空気圧のチェック

③ ハイブリッド車への切替

8-2 廃棄物排出量削減のための取組（2018 年度実績比△4%）

(1) 一般廃棄物排出量の削減

① 不要な商品を購入しない。

② 使い捨て商品の使用や購入の抑制

(2) 食品廃棄物排出量の削減

① 営業活動における破損品などの抑制及び再生利用

8-3 水使用量削減のための取組（2018 年度実績比△4%）

① 節水ラベルのチェック

8-4 自ら生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組み

① 製品配送ルートの効率化

8-5 グリーン購入の推進（2018 年度実績比+4%）

① グリーン購入相当品の調査・購入

8-6 地域貢献活動の推進

①朝の事業所周辺の清掃

②地域清掃の実施（地域ボランティアの参加）

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

環境関連法規	要求事項	遵守状況のチェック結果
容器包装リサイクル法 （容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律）	事業者及び消費者の責務	該当なし
食品リサイクル法 （食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律） 罰則 右記の内容は該当者、法人はもちろん代理人、 使用人等が犯した場合も本刑は科される。	事業者及び消費者の責務 弊社は、「食品廃棄物等多量発生事業者」には当らないので、定期的な報告は不要である。	発生実績 0
	勧告・命令	該当なし
	登録再生利用業者	該当なし
	報告の義務 登録の更新	該当なし
「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」 一般廃棄物の処理	委託	廃棄物処理は許可業者その他環境省令の定めるものに委託している
	委託基準	適正に委託している
「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」 産業廃棄物の処理 （産業廃棄物の排出量は、ゼロでした）	処理の義務	該当無し
	処理基準	該当無し
	保管基準の遵守	該当無し
	許可業者への委託	該当無し
	委託基準の遵守	該当無し
	処理状況の確認	該当無し
	管理票（マニフェスト）の交付	該当無し
	管理票（マニフェスト）の写しの保存期間	遵守
	管理票（マニフェスト）の控え（A票）の保存義務	遵守
	管理票（マニフェスト票）に関する知事への定期報告	該当無し
「毒物及び劇物取締法」 製造販売以外の毒物又は劇物を業務上取扱うものの遵守事項	毒物又は劇物の取扱	適正に使用、措置
	毒物又は劇物の容器 被包への表示義務	表示済み
	毒物又は劇物の陳列場所の表示義務	表示済み
	廃棄基準、運搬等の技術上の基準、事故時の処置	遵守
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 （フロン排出抑制法）	業務用エアコン(圧縮機電動機定格出力：7.5kW未満) 簡易定期点検	遵守
	業務用エアコン(圧縮機電動機定格出力：7.5kW未満) 引渡義務、費用負担	該当無し
	フロン類の放出禁止	該当無し
特定家庭用機器再商品化法 （家電リサイクル法）	事業者及び消費者の責務	遵守
	料金の請求	該当無し
使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律　（小型家電リサイクル法）	事業者の責務	遵守
肥料取締法	登録及び 仮登録の申請	遵守
	届出義務	遵守

当社に摘要される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

10. 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

評価及び見直しを実施した年月日 代表者確認	2023年3月31日 川村　修平

評価	環境への取組は適切に実施されているか	各営業所・各部門とも記録シートへの記録、環境活動は部門打合せによる情報共有と共に適切に行っています。
	環境経営システムが有効に機能しているか	各部署、エコアクション21活動状況の数値実績を確実に記録保管しておりシステムが有効に機能している。 環境経営システムは適切だと考える。 2年前、2017ガイドライン様式を取り入れた。
	前回の指示事項	指示事項なし
	前回審査での改善事項	改善済み
見直し（変更の必要性と指示）	環境経営方針 変更の必要性（　有　(無)　）	2014年度より「自ら生産・販売・提供する製品及びサービスに関する項目」を環境経営方針に追加している。
	環境経営目標・環境経営計画 変更の必要性（(有)　無　）	2020年度より2018年度実績をベースに4年度分の環境経営目標を設定した。2024年度以降は環境経営目標を新たに4年分設定する。 車輌走行距離記録を取り「燃費」算出は3年目。
	実施体制 変更の必要性（　有　(無)　）	現状を継続
	その他の環境経営システムの要素 変更の必要性（　有　(無)　）	経営システムは、適切に機能しており、変更の必要は直ちには必要ありません。